

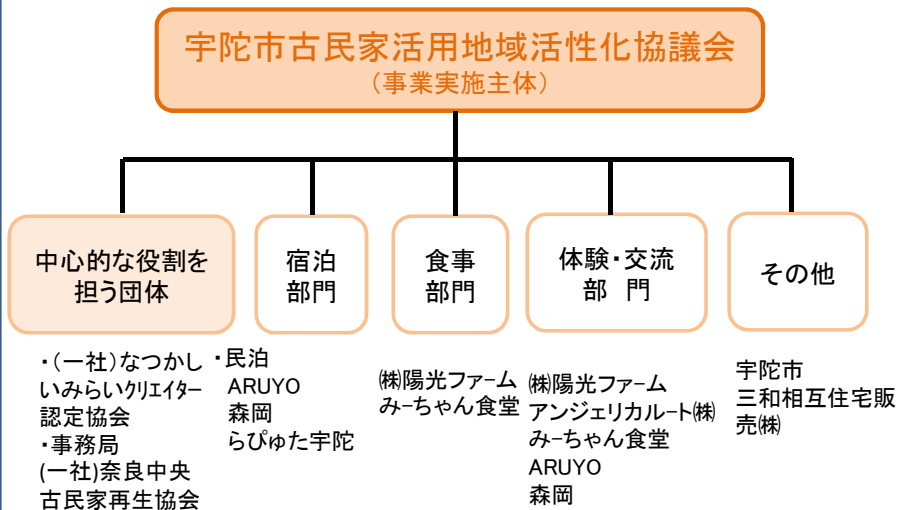
- 「にほん昔ばなし」に登場しそうな山里の原風景を楽しみ、農業体験、歴史観光、伝統芸能体験等での観光コンテンツ開発し、田舎暮らしやコト消費につながるように受入体制を整える。
- 過疎化が進む農林業エリアに住む地域住民との話し合いを重ね、「豊富な地域資源をどう活用すべきか」専門家を招聘して調査研究し、薬草ツーリズムを基軸に地域課題を克服する。

奈良県宇陀市



【採 択 年 度】
令和元年度
【事業実施期間】
令和元～2年度

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 周遊観光を目指した地域活性を行う事例、ノウハウ等のセミナーを専門家を招聘し、開催。
- 観光客への市場調査(ヒアリング調査、アンケート調査)を実施。
- 「農林資源」「歴史資源」「文化資源」「料理メニュー(薬膳料理含む)」等の観光コンテンツを地域から掘り起すためのワークショップ、フィールドワークを実施。
- 地域の魅力や体験プランについて、SNSで情報発信。



薬草料理の開発



インバウンド対応



資源発掘ワークショップ

【取組内容】

日本書記によると宇陀では日本最初の薬獵(くすりがり)の記録があり、「薬草ツーリズム」を基軸とした地域づくりを行い、観光資源を再発掘し、プログラムの開発化を進め、少子高齢化と人口減少が進む中、交流人口、関係人口の拡大を図る。

- ①地域の合意形成の構築
 - ・地域住民セミナーの開催
- ②観光素材の発掘と開発
 - ・体験メニューの調査
 - ・観光資源の調査(ワークショップ)(フィールドワーク)
 - ・モニターツアー実施
- ③情報発信



外国人モニター



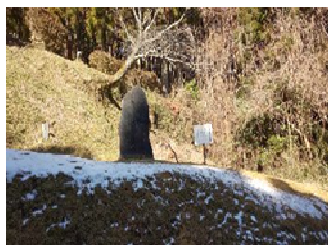
薬草を使った体験



観光ガイドの育成

インバウンド対応状況(青:対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



文祢麻呂の墓



拠点となる古民家